

記載例

様式第1号の2（第8条関係）

仙台市地域企業デジタル化サポート補助金 補助事業計画書

1. 申請者の概要

（ふりがな） 名称(商号または屋号)	（かぶしきがいしゃ もりのみやこせんだい） 株式会社 杜の都仙台		
資本金額 （個人事業者は記載不要）	1,000,000 円	業種・業態	宿泊業
常時雇用する従業員数 （パート・アルバイト含む）	7 人	設立・開業 年月日(和暦)	令和元年6月1日
取扱商品・サービス	旅館の経営		

2. 補助事業の計画

【記入の際の留意点】

- 採択された補助事業は、申請者の名称、補助事業名を仙台市HP等で公表します。
- 事業内で導入、活用する IT ツール等について、新規導入に関わるものか、既存のツール等の拡充に関わるものか、わかるように記載してください。
- 見込まれる効果や目標について、数値等を用い、定量的に表現してください。

補助事業名 (40字以内)	予約管理システムを導入した web サイト改修と新規顧客獲得に向けた SNS 運用
現状の課題	<p>仙台市〇〇で 10 部屋の小さな旅館を経営。周辺同業者より高めの値段設定だが、プライベート感を大事にしたお部屋と地元の食材にこだわった食事を提供している。原材料の高騰、人手不足への対応として業務効率化によるコスト削減及び新規顧客の獲得が課題となっている。</p> <ul style="list-style-type: none">・現在宿泊予約は当社への直接予約は 2 割にとどまり、8 割は旅行代理店経由であり、その手数料が利益を圧迫している。・リピーター客が多く、2 回目以降は直販予約を見込めるが、既存の自社サイト上には自社専用の予約システムを組み込んでおらず、やむを得ず OTA 経由で予約を受け付けている。・予約受付管理が事務室にある専用 PC1 台からしか操作できないため、お客様受入時には対応がし辛く、超勤が発生している。・既存 web サイトは軽微な文言修正も都度業者に依頼する必要がある、タイムリーな更新が出来ない。・SNS を運用しているがフォロワー数は〇人程度と、効果的に運用できておらず、新規顧客にリーチできていない。

- ・冒頭に簡単に事業の概要(何を行っているか)を記載ください。
- ・補助事業に関連する課題について具体的に記入してください。

<p>補助事業の内容 (何をどのように実施するか等、具体的に記載。)</p>	<p>①宿泊予約管理システム「〇〇〇〇 (ツール名)」及び管理用タブレットを導入【新規導入】 自社管理の予約システムを導入し、直販予約のシステムを確立する。空き状況や販売プランなどはリニューアルした web サイトでも表示できるように連携させる。また予約受付管理についても従業員専用タブレット (操作性、携帯性を考慮し「××× (機器名)」を選定) を導入し、事務室だけでなく、どこからでもアクセスし、受付管理できるようにする。</p> <p>②CMS を利用した web サイトのリニューアル【拡充】 CMS「△△△ (ツール名)」を利用し、web サイトをリニューアルし、お客様の目線を意識したデザイン、内容に変更する。また最新情報や食事メニュー、イベント情報などは従業員がページ作成、投稿が出来るように構築する。</p> <p>③SNS 広告による新規顧客の獲得【新規導入】 自社サイトのリニューアルに合わせ、Instagaram 広告を活用し、新規顧客の獲得を図る。宿泊プランに合わせたターゲット設定、動画を利用した広告などで、今まで自社を知らなかった層の掘り起こしを目指す。</p> <div data-bbox="485 1048 1506 1330" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 導入するツール名、ハードウェア名等を記載してください。 ・ 導入するツールやハードウェアに関して、それぞれ【新規導入】【拡充】が分かるように記載してください。 ・ 課題に対応した事業内容や解決策となっているご確認ください。 ・ 画像や実施内容の図を用いて説明してもかまいません。 </div>
<p>補助事業の実施により見込まれる効果・目標 (生産性向上、経費削減、取引増、従業員の利便性向上等について記載)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存予約の約半数を直販予約に誘導することで、営業利益を前年比〇%向上させる。 ・ 事務室でしかできなかった予約受付、管理業務を、タブレットを用いてどこでも対応できるように変えることにより、従業員の超勤時間を〇%削減させる。 ・ リニューアルした web サイトと SNS 広報により、問い合わせ、予約件数を〇件/月から、〇件/月に増加させ、新規顧客を毎月 5 名獲得する。 <div data-bbox="485 1738 1506 1845" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>生産性の向上や業務効率化等に効果が見込まれる具体的な内容を、数値等を用いて、なるべく定量的に記載してください。</p> </div>
<p>実施スケジュール</p>	<p>【スケジュール】</p> <p>10 月上旬 予約管理システムの導入、初期設定、運用テスト開始</p> <p>10 月下旬 web サイトリニューアルについての打合せ開始</p> <p>11 月～12 月 web サイトリニューアル企画確定</p> <p>11 月～12 月 web サイト制作</p>

	<p>web サイトの投稿、管理方法の習得 予約管理システムの運用方法の習得</p> <p>12月（web サイト完成後） SNS 広告の投稿開始・コンテンツの検討、 効果の検証</p> <p>【実施体制】 全体責任者：1名（代表取締役社長） 事業の全体統括、web サイト、SNS 運用企画、 ベンダーとの調整 予約管理システム責任者：1名 予約管理システム導入に関する各種 調整、運用リーダー 予約管理システム担当者：2名（web サイト担当者と兼任） 予約管理システムの操作 web サイト・SNS 責任者：1名 web サイト製作、SNS 運用の各種調整、 運用リーダー web サイト・SNS 担当者：2名（予約管理システム担当者と兼任） web サイト、SNS の操作</p>
--	--

- ・【スケジュール】と【実施体制】を記載してください。
- ・【スケジュール】には期間と実施内容を明確に記載してください。
- ・【実施体制】には事業を実施する責任者、担当者等を記載し、それぞれの役割を記載してください。

<p>補助事業実施の際に求める支援（円滑な事業実施や、効果を高めるために、事務局にどういった助言やサポートを求めるかを記載。）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予約管理システムについては、現在の管理方法から移行の計画は立てているものの、現行の業務への落とし込みに不安もあるため、スムーズに移行できるように、助言を受けたい。 ・web サイトのコンテンツや SNS コンテンツについては、web マーケティングを取り巻く最新の動向などもお伺いしながら、自社の魅力が伝えられる最適なコンテンツ作成をしていきたい。 ・SNS 広告に関しては、運用経験もないことから、特にターゲット設定や分析方法などを学びながら、いずれは自走できるように取り組んでいきたい。
---	--

- ・事業の効果を最大化させるために、どのようなサポートが必要か記載してください。
- ・事業実施に際し、不足している部分や懸念している部分を記載することで、マイナス評価することはありません。

※欄が足りない場合は適宜追加してください。

3. 収支予算書

i 収入

(単位：円)

区分	金額
本補助金	¥433,000
自己資金	¥433,000
その他 ()	¥0
合計	¥866,000

・見積書等と整合性がとれているか確認してください。
・単価と数量は詳細に記載してください。

クラウドサービス利用費の対象経費は最大1年分となります。

ii 支出

(単位：円)

経費区分 ※1	新規/ 拡充 ※2	積算内訳 (単価×数量) ※導入、利用するツール・サービスがある場合は記載	事業実施に要する経費(税込)	補助対象経費 (税抜)
クラウドサービス利用費	新規	宿泊予約管理システム「〇〇〇」 1年分 (¥3,300/月×12か月)	¥39,600	¥36,000
クラウドサービス利用費	新規	宿泊予約管理システム「〇〇〇」 初期設定一式 ¥110,000×一式	¥110,000	¥100,000
クラウドサービス利用費	新規	宿泊予約管理システム「〇〇〇」 操作習得オンライン研修参加費 3名分 (¥5,500/1名×3)	¥165,000	¥150,000
ハードウェア購入費	新規	タブレット「×××」 3台 (¥66,000/1台×3台)	¥198,000	¥180,000
Webサイト構築・改修費	拡充	「CMS「△△△」を利用した webリニューアル一式 (宿泊予約管理システム連動含む) ¥385,000×一式	¥385,000	¥350,000
Web広告費	新規	Instagram広告 1か月 ¥55,000/月×1か月	¥55,000	¥50,000
補助金対象経費合計				866,000円
(1) ハード導入費にかかる交付申請額 (ハード導入費の小計×1/2・上限200,000円※3)				90,000円 ※4
(2) ハード導入費以外の費用にかかる交付申請額 (ハード導入費以外の費用の小計×1/2)				343,000円 ※5
補助金交付申請額合計 (1) + (2) (上限500,000円、1,000円未満切り捨て)				433,000円 ※6

※1 仙台市地域企業デジタル化サポート補助金交付要綱の別表1に記載する経費区分を記載ください。

※2 新規/拡充には対象経費がどちらに該当するか記載してください。

新規：新規導入に関わるもの(新規システム利用にあたってのライセンス取得)

拡充：既存のツール等の拡充に関わるもの(既に利用しているシステムのライセンス追加等)

※3 ハードウェア導入費は、パソコン、タブレット等の汎用性の高い製品については、ソフト

ウェア導入費、クラウドサービス利用費とあわせて申請する場合に限り補助対象とし、補助金額は20万円を上限とする。券売機やPOSレジ等の使用用途が限られている製品については、補助上限額を50万円とする。

※3～5 記載いただいた金額を（様式第1号）交付申請書へ転記ください。

事業計画の内容について専門家の確認を受けた。

確認を受けた日	令和6年 2月 15日	事前確認対応者	仙台 花子
---------	-------------	---------	-------

・専門家とのコンサルティング（事前相談）で事業計画の内容について確認を受けた日付（事前相談2回目など）及び対応した専門家を記載してください。